



奥薩摩水と緑の郷づくり構想における鶴田ダム周辺ゾーン

21世紀新かごしま総合計画の中に、「奥薩摩水と緑の郷づくり構想」の推進が主要プロジェクトとして位置づけられたことを契

地域振興
中尾議員
奥薩摩構想の推進は
三つのゾーンを中心に

機に、1市3町で構成された推進協議会が14年5月構想を策定し、2001年から10年間を目標として事業の推進がなされることとなっ

ている。事業開始年度に当たり構想の実施に向けての推進方策を伺います。町長 構成市町で連携を深くして、協議会を中心に実現に向け推進していきます。本町としては広域的な観点から、他市町の支援も行いながら、鶴田ダム周辺、神子橋周辺、紫尾温泉周辺の三つのゾーンを中心とした観光振興を積極的に訴え、地域の発展に結び付けていきたい。

有害鳥獣
橋之口淳一議員
一般作物への補助対策は
12月に結果を出す



タヌキ、アナグマの被害を受けるようになったイチゴハウス

近年自然環境の変化により有害鳥獣が里山に移住し、農作物の被害が増えてきております。なかでもタヌキ、アナグマ対策には苦慮している実情であります。水稲等は、県単事業による電気柵補助制度を活用して効果が上がっておりますが、その他の一般作物は対象外となっており、駆除としては銃器による方法しかなく、個人的にも適切な対応策がとれないなど事実効果が上がっておりません。

そこで町単独事業による補助制度の導入はできないものか、経済建設常任委員会の総意として考えを伺います。町長 近年有害鳥獣による農作物への被害が大変多くなつてきており、11年度で2126万円、12年度で1348万円の被害報告があります。有害鳥獣被害防止対策については、農政連や農業委員会からも要望があり、町でも有効手段を求めて経済課を中心に町技連会で14年度の重点課題として、その対策を検討中であります。農家や猟友会、鳥獣対策協議会とも協議し、個人や1件当たり等の補助も勘案しながら12月を目標に結果を出したい。



一般質問

今回の一般質問は9月13日に行われ7人の議員が登壇しました。質問と答弁の要旨をお知らせします。

児童保育
中尾正男議員
児童クラブの年間運営を
実施の方向で検討



今年の夏休み期間中に行われた学童保育

学校完全週5日制や共働き世帯の増加等で以前より要望のあった児童クラブの運営が、夏休みの期間実施され好評であった。今回は期間が短いことから町単独の事業であつ



たが、国県の補助事業を導入し、民間を含め年間を通じた児童クラブの運営をされる考えはないか、総務常任委員会の総意として伺います。町長 国県の補助事業については児童数、開設日数、1日の開場時間等採択要件があります。今回参加された方々のアンケートを参考にしたり希望者の状況を見ながら、町の財政・人的な対応の件などありますが、できるだけ実施の方向で検討してみたい。民間の方については年間を通してはやれないとの考えのようです。

ここを、ただしてみました